

製品名: GPX4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21183**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:22kD;Observed MW:22kD

抗原情報

遺伝子名	GPX4
別名	Phospholipid hydroperoxide glutathione peroxidase, mitochondrial;PHGPx;Glutathione peroxidase 4;GPx-4;GSHPx-4;
遺伝子 ID	2879.0
SwissProt ID	P36969
免疫原	-

背景

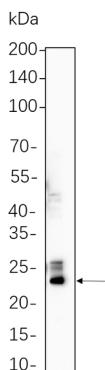
細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質はグルタチオンペルオキシダーゼファミリーに属し、このファミ

リーのメンバーは過酸化水素、有機ヒドロペルオキシド、および脂質ヒドロペルオキシドの還元を触媒し、それによって細胞を酸化ダメージから保護します。脊椎動物にはこの遺伝子ファミリーの複数のアイソザイムが存在し、細胞内局在と基質特異性はそれぞれ異なります。このアイソザイムは脂質ヒドロペルオキシドを強く選択し、膜脂質過酸化および細胞死から細胞を保護します。また、正常な精子の発達にも必要であり、ペルオキシダーゼとしての機能と成熟精子の構造タンパク質としての二重の機能を果たすことから、「ムーンライト」タンパク質として同定されています。この遺伝子の変異は、セダガチアン型脊椎骨幹端異形成症 (SMDS) と関連しています。このアイソザイムはセレノタンパク質でもあり、活性部位に希少アミノ酸であるセレノシステイン (Sec) を含みます。Sec は、通常は翻訳終結のシグナルとなる UGA コドンによってコードされています。セレノプロテイン mRNA の 3' UTR には、Sec 挿入配列 (SECIS) エlementと呼ばれる保存されたステムループ構造が含まれており、これは UGA を終結シグナルではなく Sec コドンとして認識するために不可欠です。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかりません。[RefSeq 提供、2016 年 10 月]

研究分野

-

画像データ



HepG2 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を GPX4 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。